

会 議 録

平成 25 年 6 月 10 日 調製

審議会等名	平成 25 年度 第 1 回 図書館協議会
公開の別	全部公開
開催日時	平成 25 年 6 月 4 日(火) 午後 2 時 ~ 4 時 30 分
開催場所	三条市立図書館 2 階 視聴覚室
傍聴者の有無	無
出席者氏名	<p>【協議会委員】 宮島泉委員長 五十嵐章雄副委員長 平井幸子委員 石川和子委員 津々木稔委員 本井晴信委員 倉品章委員 小山かおり委員</p> <p>【説明のための職員】 金子生涯学習課長 金子生涯学習課長補佐 渡辺生涯学習課係長 伊藤生涯学習課主任</p> <p>【指定管理者】 高須館長 菊崎業務責任者 佐藤副責任者 瀧澤副責任者 竹内副責任者 村山副責任者</p>
協議題	<p>(1) 委員長・副委員長の選出について (2) 平成 24 年度の図書館利用状況について (3) 平成 25 年度の事業計画について (4) 平成 25 年度 4 月以降の利用状況について (5) 第 2 次三条市子ども読書活動推進計画進捗状況について (6) その他</p>
生涯学習課長	(あいさつ)
出席者全員	(協議会委員、生涯学習課員、指定管理者職員の順で自己紹介)
図書館長	協議題(1)「委員長・副委員長の選出」について、協議会運営規則では「委員の互選により定める」となっている。自薦または他薦などの意向をお聞かせ願いたい。
各委員	(特に意向なし)
図書館長	新任の委員 6 名を迎えての初会合ということもある。ついては、僭越だが事務局から宮島委員を委員長に、五十嵐委員を副委員長に推薦させていただきたい。
各委員	(特に異議なし)
図書館長	それでは、お二人に就任していただき、これ以降の議事進行をお任せする。
宮島委員長	協議題(2)「平成 24 年度の図書館利用状況」についての説明を求めたい。
図書館長	(「平成 24 年度の図書館利用状況」について説明)
宮島委員長	初めての方には資料の内容の把握が大変かもしれない。そのような中、新鮮な目で見て、これはと思うところがあれば気軽に手を挙げて発言してください。
津々木委員	資料 11 ページの学校連携のところに、おはなしの出前サービスが挙げられている。ところが、実際の訪問先を見ると保育園や幼稚園のように見受けられる。小・中学校は先生任せというのが実情なのか。

瀧澤副責任者	資料 11 ページには保育園や幼稚園を記載している。しかし、小学校にも先方からの依頼に応じて出前サービスを行っている。また、学校から図書館を通さずに直接ボランティアの方に依頼している場合もあるが、その事例は資料に載せていない。
津々木委員	小・中学校は朝に読み聞かせを行うところが多いと認識している。その時間帯には、おはなしの出前サービスが実施出来ていないかと思い確認した。
宮島委員長	いまの質問に関連して質問したい。資料「エ. 学校訪問」のところに挙げられているのが、小学校への出前サービスということになるのか。
瀧澤副責任者	ご指摘のとおりである。ただし、こちらに挙げている出前サービスの内容は、読み聞かせよりもブックトークが中心となっている。 図書館からの出前サービスは、先方からの依頼に応じて実施することを原則としている。幼・保育園はおはなしが主体となるが、学校は授業の一環としての依頼が主となるためブックトークが多くなる。 学校で行うブックトークでは、一つのテーマを決めて、例えば「夏休み」とか「運動会」などのテーマに沿った本を5、6冊持参して紹介している。
平井委員	旭小学校では秋の読書週間に授業時間を当てて、図書館からの出前でブックトークを実施してもらっている。大変、有意義な時間となっている。 ところで、読み聞かせは継続的には実施していないのか。例えば、定期的に月1回訪問するとなどの取り組みは行っていないのか。
図書館長	授業の状況や利用目的に基づいた、先生からの依頼に応じて出掛けて行き実施しているのが現状であり、学校向けの定期的な出前サービスは行っていない。今後、実施を検討するべきだろうか。
平井委員	例えば、小学校では朝8時15分から30分くらいの時間帯で定期的に来ることを要望したい。だが、図書館の勤務時間では対応が難しいのではないか。
図書館長	現在、8時30分始業としている。図書館を開けるのは9時30分だが、その1時間前に出勤して開館準備を行っている。8時30分の始業時間以降であれば何とか何うことを検討できる。
平井委員	そのような状況を鑑みて、ボランティア団体の方をお願いすることが多いのだと思う。
宮島委員長	今の件に関して当事者として補足説明を行いたい。 私も図書館に登録している団体に参加してボランティア活動を行っている。個人的に、または図書館を通して朝読書での読み聞かせの依頼を受けている。そして、私の所属する団体では、現在4つの小学校に月1回訪問している。 図書館ではボランティアの支援を行っており、読み聞かせの依頼に関する相談や受付、さらに、それらを取りまとめたうえで各ボランティア団体に連絡・相談を行っている。それを受けて各団体が朝読書に対応しているといった状況にある。
倉品委員	資料 1の3ページの内容説明で、館長から利用実績が前年比でマイナスが続いているとの説明があった。図書館利用カードの登録数は3万1,029人とのことだが、子どもたちの登録数は現在何人くらいなのだろうか。子どもは全員登録しているものと思っていた。子どもは何パーセントくらい登録しているのか。
図書館長	年代別人口に対する図書館利用カードの登録比率は把握していない。これを機会に調

	<p>査・確認を行いたい。</p>
倉品委員	<p>数値の把握を目的にするのではなく、把握した数値に対してどのように対処するかが問題だ。子どもの登録は家庭での判断に任せきりにしているのではないか。学校との連携を強化するなどの施策を講じているのかが問題だと思う。</p> <p>もう1点は、逆に本館における子どもの貸出者数が増えている。2,452人も増えている。これはうれしいことだと思う。その要因を分析して把握しているのか。</p>
図書館長	<p>自動車文庫の貸出者数を本館の実績に加えている。そこで、自動車文庫の貸出者数が本館の実績に反映される。</p> <p>一昨年度の途中から自動車文庫の訪問先が22ヶ所から24ヶ所に増えた。更に、昨年度の7月からもう1ヶ所増えて25ヶ所になった。これが貸出者数増加の要因となっている。また、自動車文庫の車両の荷台に設置した書棚に乗り込めるようになったことも、特に子どもの貸出数の増加に影響していると見ている。</p> <p>本館での特別な企画などの成果ではなく、自動車文庫の子どもの貸出者数の増加が本館の実績伸張の要因となっている。</p>
宮島委員長	<p>協議題(3)「平成25年度の事業計画」についての説明を求めたい。</p>
図書館長	<p>(「平成25年度の事業計画」について説明)</p>
本井委員	<p>自動車文庫は毎日運行している。そして、かなり遠方まで出向いている。真夏も真冬も大変だと思う。ついては、とにかく事故を起こさないように気をつけてもらいたい。1回でも事故を起こすと、その後の運行ができなくなってしまう。細心の注意を払いながら運行してもらいたい。</p>
図書館長	<p>大変貴重なご助言ありがとうございます。雪の時期は休止して、4月から11月までの8ヶ月間運行している。その間、細心の注意をもって運行に当たらせていただきたい。</p>
宮島委員長	<p>自動車文庫の運行以外に、スタッフの勤務状況についても無理のないように配慮を求めたい。</p>
石川委員	<p>図書館の利用促進として案内文書を小・中学校に配っているとのことだが、以前は保育所の方にも来ていた。親子で図書館を利用するための券を作りませんかといった案内が来ていたと思う。それが最近届いていない。</p> <p>本好きの方は案内に応じて図書館に通われている。</p>
瀧澤副責任者	<p>本年度は小学校及び中学校の1年生を対象に配布した。</p>
石川委員	<p>以前は紙がもったいないと思うぐらい届いていたのが来なくなった。</p>
宮島委員長	<p>本件について経緯などの説明を求めたい。</p>
瀧澤副責任者	<p>来年度、保育所への配布をどうするかを再度検討したい。</p> <p>小学生になると自分で図書館に来ることができるようになる。ところが、保育園児だどご両親をはじめとするご家族の方に連れられて来ている。そこで、図書館と一緒に来ていただくように案内している。</p>
石川委員	<p>案内の主旨は了解した。</p> <p>ブックスタートを行っているが、それ以降は小学校になるまで案内が途切れてしまっている。本好きの方は、本当に一生懸命に親子で図書館に通っていると聞いている。また、保育所で図書館から本を借りたうえで子どもたちに貸し出している。図書館からの案内があ</p>

	れば、土日にでもちょっと図書館に足を運ぼうかなというきっかけになると思う。
宮島委員長	今の発言は図書館に希望することか。
石川委員	そうである。
宮島委員長	保育園、保育所、幼稚園といった幼児の施設に対する図書館からの働きかけを積極的に行うことを求めたい。
瀧澤副責任者	よく検討する。
図書館長	年代ごとに途切れのない案内を行うことを今後の課題とする。
五十嵐副委員長	鈴木翠龍文庫は、どういう内容でどのように整理されているのか。
菊崎業務責任者	書道に関わる本から辞書まで、鈴木翠龍先生が使われていた本などを栄分館に寄贈していただいたもので、その整理を現在進めている。栄分館を中心として、僅かだが現在既に鈴木翠龍コーナーを設けている。その拡充を図って行く予定でいる。
津々木委員	資料 21 ページにある読書会活動の支援について確認したい。読書会として記載されている団体に、読み聞かせや朝の読書への対応を依頼できるのか。 学校での読み聞かせは、朝の 8 時 15 分から 30 分にかけて実施しているところが多い。私も朝の時間に何回か行っている。子どもたちは本当に目をキラキラさせて、机にかじりついて聞いてくれる。 本当は PTA の保護者で対応できたら 1 番よいと思うが、年々、読み聞かせを行ってくれる保護者が減ってきている。何とか継続的に実施して行きたい。については、図書館に登録されている団体に対応を求めたい。
宮島委員長	読書会活動の支援について、読書会の一覧の提示はあるが、どのような支援を行っているかの説明がない。
図書館長	読書会に対する図書館からの支援について、例えば、読書会が行うバス見学会実施に際して、市役所所有のバスの手配、旅行保険申込代行、見学会当日のバスへの添乗などを行っている。また、布絵本を作製する読書会については、市販されている絵本を布絵本化する際に出版社の許諾取得を図書館が代行することで、会員の方たちが製作に専念できる環境づくりに協力している。目の不自由な方のための音声朗読をする会については、会員の方がテープに録音したものを CD に録音し直している。 このように、図書館では会ごとに異なる活動や目的に応じて様々な支援ならびに協働を行っている。
宮島委員長	提示されている読書会の一覧は、活動分野ごとに整理されておらず、順不同で列挙されているだけである。例年、同じ要領で作成しているようだが、活動ジャンルごとに分けるなどの工夫を求めたい。 津々木委員からあった要請のように、読書会との連携などを求めたい人が、どの分野で活動しているかが分かるようにすると良い。
図書館長	連携や協働を求める際に、きっかけを掴むガイドとなるように検討したい。
宮島委員長	図書館側では読書会の目的や内容を把握しているだろうが、一般利用者から見て登録しているグループ数も多いため、ボランティアとして参加したり連携や協力を要請したり出来るか検討する際に役立つ情報も提供できるようにしていただきたい。
図書館長	今後の検討課題としたい。
本井委員	絵本は子どものために作っていると思われがちだが、半分以上は大人向けにも作られ

	<p>ている。大人が作っているのが当然と言えば当然のことだと思ふ。絵本を作っている、または絵本そのものを書いている人たちは、絵本だけを専門にしているとは限らない。本業は一般向けの作品を書いている作家や画家で、絵本の執筆にも熱心に取り組んでいる人もいます。このことが一般に知られていない場合がある。</p> <p>そこで、親や大人が認識して子どもたちに教えてあげてほしい。さらに、絵本の挿絵で美術鑑賞を催すことに繋げて行くことなど、活用できる余地があると考えている。</p> <p>図書館職員は、忙しい中でも所蔵品をいろいろな視点から捉え直して、その価値を利用者に提供するように努めてもらいたい。</p>
五十嵐副委員長	<p>2月に行われている図書整理は、あの時期ではないといけないのだろうか。入学試験の直前の期間でもあり、また、寒さの厳しい時期で屋外に出るより図書館を利用するのに適しているとも思う。他の時期の実施では駄目なのだろうか。</p>
生涯学習課長	<p>かつては曝書と言って、本を風に曝すこともあり9月に実施していたこともあった。ところが、全館休館して行くこともあり、読書に相応しい時期に休館することに苦情が出たりした。そこで、図書館利用者数が少ない時期を選ぶようになった。</p> <p>ちなみに、蔵書を正確に把握するためには貸出などの出し入れを停止する措置が必要となる。</p> <p>ただし、今年度2月実施については、受験生に配慮して自習室だけは開放する方向で検討するように図書館に指示している。</p>
宮島委員長	<p>作業場所も必要なのか。</p>
生涯学習課長	<p>自習室などを利用して作業を行っている。</p> <p>ちなみに、県立図書館の実施時期はいつ頃なのだろうか。</p>
本井委員	<p>毎年、6月の第2週に1週間かけて実施している。</p>
生涯学習課長	<p>気候の良い時期に休館して実施すると利用者から苦情を受けることになる。利用者の少ない時期を選ぶと受験シーズンにぶつかってしまう。そこで、折衷案として自習室のみ開放する措置を取ることとした。</p>
宮島委員長	<p>協議題(4)「平成25年度4月以降の利用状況」についての説明を求めたい。</p>
図書館長	<p>(「平成25年度4月以降の利用状況」について説明)</p>
本井委員	<p>7月と9月の講演は大変良い講師を得ていると思う。満杯になるのも早いのではないだろうか。3回くらい続けて呼んでも良いのではないか。大変いい内容だと思う。良い企画を立てて実績を重ねるように努めてもらいたい。</p>
図書館長	<p>次につながる形で取り組んで行きたい。</p>
倉品委員	<p>来館者数は増えているが貸出数は減っているとのことだが、読んでみたい本がないということが原因のひとつではないだろうか。利用者からリクエストを聞く場や仕組みは整っているのか。</p>
図書館長	<p>こういう本が読みたいという要望を利用者の方に記入してもらうためのリクエストカードを用意している。</p> <p>蔵書にない場合は、まず相互貸借といって他の図書館から借りることを検討する。近隣の図書館に当たり、無いようであれば遠隔地の図書館にも当たる。次に、蔵書に加えた方がよいと判断した場合は購入することになる。また、蔵書がある場合でも、本館と分館との配置を換えたりすることもある。</p>

	本件に関連する事項として、今月 1 日から来館者に他の利用者に薦めたい本を募っている。
倉品委員	利用者側から言うと、専門的なものより新刊が読みたい。新聞などの書評を見て読みたいと思っている。そのような要望は月に何件くらいあるのか。50 から 100 件くらいあるのだろうか。それらに選書会議などで対応しているのか。
菊崎業務責任者	昨年度に本の予約をいただいた件数が本館で 3 万 3,592 件ありました。栄分館が 2,025 件、下田分館が 932 件で合計 3 万 6,549 件になります。所蔵していない本でご要望があったものは、大体月に 100 冊以上になります。これに、相互貸借と購入で対応している。
倉品委員	今の報告で、本に関心の高い方が多いと感じた。
菊崎業務責任者	新刊を購入しているが、人気がある本だと予約に応じて貸し出してしまおうので、その他の利用者が目にするまでに数ヶ月かかってしまうこともある。
平井委員	本の購入計画と予算はどのようになっているのか。ベストセラーになっている本をリクエストしても何ヶ月待っても回ってこないことがある。
生涯学習課長	購入費について回答する。 三条市では指定管理者の図書館流通センターに、図書購入費に 2,200 万円の予算を割り当てて必ず使い切るように指示している。直営の図書館では財政からの予算が削減されると図書購入費が削られる例があると聞いている。だが、三条市では、このような形態を取っているため図書購入費が保証されている。 ただし、ベストセラーを何冊も揃えたが、一時のブームが去って同じ本が読まれなくなって何冊も残るのはどうかと思う。また、書店に並んでいる本を図書館で何冊も揃えると、書店業を圧迫したり著作権者の利益を損ねることにもなりかねない。
図書館長	図書館経営のレクチャーなどで、ベストセラーばかりを揃えるのは見識をもった図書館経営ではないといった主旨の指導を受けることがある。 利用者のニーズ、このような協議会などのご意見、図書館として利用者にとって価値や意義のある本を紹介して行く使命、これらのバランスを考えながら対処したい。 ちなみに、購入するジャンルに偏りが起きないように、予め購入予算をジャンル別に割り当てるという方策も採っている。また、図書購入を検討する選書会議は個人の嗜好に偏らないように合議制としている。
平井委員	私もベストセラーで読みたい本があれば個人で購入した方が良いと思う。 学校の図書館では、子どもは古い本や汚損した本は手に取るうとしない。そこで、市立図書館では、蔵書を揃える場合の対処法を聞いてみた。
図書館長	資料 6 ページに昨年度の受入冊数と除籍冊数が記載されているので参考として見ていただきたい。受入冊数は寄贈された本も含むので、購入したものは 1 万冊程度であった。
宮島委員長	協議題(5)「第 2 次三条市子ども読書活動推進計画進捗状況」についての説明を求めたい。
伊藤主任	(「第 2 次三条市子ども読書活動推進計画進捗状況」について説明)
宮島委員長	その他の報告、通知、提言などがあれば発言を求めたい。
図書館長	次回の協議会について、近隣の図書館の見学会とすることを提案する。私自身も新

	任の館長であること、また、本年度は6名の新任の委員をお迎えしたこともあり、一緒に図書館に対する見聞を広めることとしたい。
各委員	(賛同する発言以外に特に異議なし)
図書館長	それでは、見学会の手配を進めさせていただくこととする。
宮島委員長	これをもって、平成 25 年度の第 1 回図書館協議会を閉会とする。